



「女性の休日」を鑑賞して

山下 いづみ

今年の JAUW 国際女性デーでは、国際ネットワーク委員会主催により、ドキュメンタリー映画『女性の休日』を題材に意見交換を行いました。印象に残ったのは「私たちは地位やポジションが欲しいのではなく、理解してほしい」という言葉です。性別で役割を分けるのではなく、適材適所で社会を築く重要性を改めて感じました。私自身、小学生の頃、修学旅行で女子はスカートと決められていたことに疑問を抱いた経験があります。こうした日常の違和感の積み重ねが社会の意識を形づくるのだと思います。

「シスターフッド」は志を共有し社会をより良くするために行動する連帯であり、その力が変化を生みます。私自身は、女性差別撤廃条約選択議定書の完全批准をもとめること、市役所の担当部署名として「男女共同参画」を消さないこと、DV 防止啓発としてパープルライトアップやパープルリボンなどです。小さな取り組みの積み重ねが社会を変えていきます。地方議会からでも社会を前に進めることはできます。

※2026 年 10 月 24 日以降自主上映会が可能になる。静岡支部では他の団体との共同で上映会を検討中。



お知らせ



【静岡支部総会】

日時：令和 8 年 4 月 18 日（土）
11：00 ～

場所：あざれあ 第 2 会議室
（静岡県男女共同参画センター）

【JAUW 全国総会】

日時：令和 8 年 5 月 16 日（土）～17 日（日）
場所：K K R ホテル東京（千代田区）

【URA Tokyo 総会】

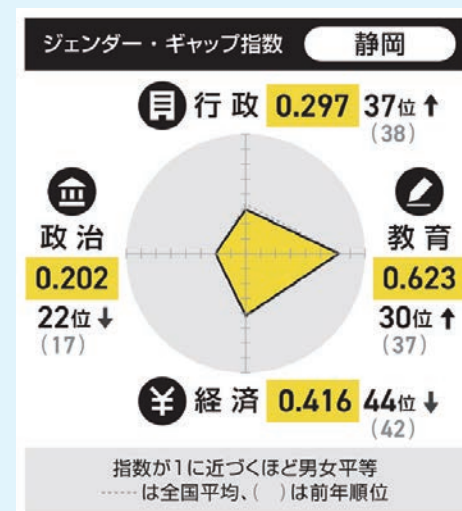
日時：令和 8 年 5 月 18 日（月）～20 日（水）
場所：K K R ホテル東京（千代田区）

編集後記



4 月から静岡市では、組織改編が行われ、男女共同参画・人権政策課と、国際交流課の多文化共生係を統合し、「社会的包摂推進課」と改称され、男女共同参画という言葉が消えました。名称が変わっても、政策・施策はこれまで通り遂行していくと確約できましたが、ジェンダーギャップ指数を見れば、まだまだ課題が山積みです。後退していかないように、しっかりウォッチしていかなければと思っています。我が代表も参加した万博での「政治議論」は貴重なものでしたよね。

静岡市議会議員 佐藤 成子



一般社団法人

2026 年 4 月発行

News Letter 大学女性協会静岡支部

ニュースレター

発行責任者／支部長 山下いづみ



【支部長挨拶】

日頃より、JAUW（大学女性協会）静岡支部の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2025 年は、女性の政治参画の推進をはじめ、ユース世代の育成、リトルワールドキャンプへの支援など、次世代につながる取り組みを着実に進めてまいりました。

また去年は、EXPO の公式行事として、JAUW およびその国際組織である GWI（Graduate Women International）との共催により、スイスパビリオンにて「政治における女性たち」をテーマとしたシンポジウムが開催されました。静岡支部からも、上川衆議院議員、そして私自身が登壇する機会をいただき、国際的な視点から女性の参画について発信できたことは、大変意義深いものでした。

本年は、5 月の全国総会に加え、アジア地域の大学女性協会が集う UWA（University Women Asia）東京総会の開催が予定されております。国内外のネットワークがさらに広がる中で、私たちの活動も一層深化していくことが期待されます。

女性の地位向上、男女共同参画社会の実現、そして国際協調の重要性を改めて実感し、行動へとつなげていく一年となりますよう、引き続き皆様のお力添えをお願い申し上げます。

静岡支部長 山下 いづみ

Report 1

「ユース&シニア交流カフェ」と「大学生の貧困を考える会」に参加して 勝又 幸子

「ユースが社会とつながるきっかけ作りとして、世代を超えた対話の場を増やす」を実践する活動として 2025 年度「ユース&シニア交流カフェ」を静岡支部他 4 つの支部が行いました。静岡では 2025 年 11 月 22 日に、県立大学在校生 5 名と支部会員 5 名が「ユースの意見で社会を変えるために」というテーマで意見交換をしました。

学生サークル『学生助けたいんじゃー』がキャンパスソーシャルワーカー（以下 CSW）の学内設置をもとめて活動していることを、2023 年度に実施した調査・研究委員会のアンケートの後続個別インタビュー調査で知りました。そして、大学内における既存の相談体制では対応しきれっていない大学生の生活課題があることを知りました。

そこで静岡支部では、ユース&シニア交流カフェを CSW の設置要望活動に焦点をあてた意見交換の場にすることにしました。参加してくれた学生のうち 3 名がこのサークルに参加しており、あとの 2 名は静岡支部が長年支援している「リトルワールドキャンプ実行委員会」に参加していました。この日の意見交換の詳細は JAUI ホームページ掲載の JAUI 調査・研究委員会報告「ユースの声からみえた課題～世代をこえて希望の対話を」にまとめてい

ます。CSW 設置要望活動は現在も続いているのですが、大学当局からは既存の相談体制で十分であるとされ活動が停滞しているということでした。数年前のコロナ禍でアルバイト収入が得られなくなり多くの学生が経済的困窮にあった頃は大学や学外からの寄付で実施していた「たべものカフェ」（食料配布活動）は財源の不足から現在は限定的な実施になっているとのことでした。

2026 年 2 月 22 日「大学生の貧困を考える～たべものカフェから見えてきたこと～」という公開講座が開催されました。CSW について既に導入している大学の経験が聞けるということで私を含めて 3 名の支部会員が聴講しました。しかし当日どうしても都合がつかない支部会員も多く、『学生助けたいんじゃー』にご協力いただき、当日の録音録画情報を静岡支部限定で提供していただきました。QR コードに接続すると御覧いただけます。CSW を導入した大学の話は 1 時間 15 分ごろから始まります。

静岡支部では 2026 年度もひきつづき『学生助けたいんじゃー』と連絡をとりながら、わたしたちにできることは何かを考えつつ協力する道を模索していきたいと考えています。



こちらの QR コードから当日の様子をご覧ください。
1 時間 15 分 15 秒ごろから、米村美奈先生のご講演開始されます。



Report 2

「リトルワールドキャンプ」参加して 佐久間 恵



2025 年 8 月 14 日から 16 日、富士市立少年自然の家にて、2 年ぶりのリトルワールドキャンプが開催されました。静岡県立大学の学生が企画運営し、静岡県内の小学校に通う子どもたちと外国をルーツに持つ子どもたちを招いて行うサマーキャンプです。子どもたちと学生が寝食を共にし、言葉や文化を超えて協力することで、異文化とのかかわりを意識し、それを受け入れる能力を育むきっかけを提供することを目的としています。大学女性協会静岡支部では長年このキャンプを支援していますが、今年度より担当役員を仰せつかったた

め、初日に活動の様子をのぞかせていただきました。

訪れると 41 名の子どもたちと 47 名の学生たちが混じり合って兄弟のように仲良く活動しているのが印象的でした。今回、残念なことに参加者の中で外国にルーツを持つ子どもは少なかったようですが、学生たちが事前に異文化理解要素を取り入れた様々なレクリエーションを用意することにより、子どもたちだけでなく学生も多文化共生への理解を深められたのではないかと感じました。

連日報道される世界各地での紛争の悲惨なニュースに触れるたび心が痛みます。様々なルーツを持つ人たちが暮らす地域社会の中で子どもの頃から異文化に触れ、理解し、互いを尊重しあうことが、暮らしやすい地域づくり、更には世界の平和にもつながっていくのではないかと考えるきっかけともなりました。



どこでどうしているのかな？ 大塚 佐枝美



イランに対するイスラエルとトランプによる戦闘が開始されて 1 ヶ月がすぎた。イラン人と聞いて 2015 年に行われたアレズ・ファクレジャハニ氏の講演会『切っても切れない絆—イランから見たイラク』を思い出した。本部で行われた講演会を聞き、是非支部でもと計画した。流暢な日本語に舌を巻いたものである。

1973 年テヘランに生まれ、小学生の時に 1980 年～ 1988 年のイラン・イラク戦争を体験した彼女は義足の研究のために文部省のイラン人初の留学生となって来日した。松江工業高専。豊橋技術科学大学を経て東京工業大学博士課程に在学中とのことであった。専門はイランを中心にした中東の政治社会。2006 年から 2011 年までは東京外国語大学で研究員。2014 年 4 月～ 2017 年 3 月は東京外国語大学、アジア・アフリカ研究所のジュニアフェロー。

話の中身は国のないクルド人のことや言語の話が印象的だった、日本でも地方には様々な言語があり統一されて 50 年になるが、中国語やハンガルとも言語は共通しているという。彼女は「偶然に生まれながらペルシア語、アゼリ語が話せて、英語、アラビア語やトルコ語、中国のウイグル語を習い、しっかり耳をすまして似た単語からわかるようになった」という。彼女はアルジャジーラの放送を翻訳し、ハタミ大統領の訪日を計画し実現させ、東工大はハタミ大統領に名誉博士を与えた。

「イラン・イラク戦争はイスラム教内のシーア派とスンナ派の歴史的対立や、アラブとペルシアの歴史的な対立の構図を現代に復活させたものだから。また、イスラム革命に対する周辺国と欧米の干渉戦争と捉えることもできる」という。

ネット上で彼女は今どうしているだろうと探したが、2017 年以降の消息がわからない。